

一橋大学陸上競技部年譜

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1922年 大正11年	5月	「夕走団」を組織し、夕刻4時頃より毎日1万mの外濠コースを走った。 参加者 70名。
1923年 大正12年		震災後(9月1日)、石神井に広大なるグラウンドを得る。(→ 大正13年)
1924年 大正13年	6・15	全一橋陸上大会 第一回大会を駒場トラックで挙行。競技種目18の中 一橋標準記録を破ったもの5種目を出し、大いに今後の奮闘を誓った。 (10・25、明治神宮外苑競技場竣工)
	10・31	第1回 対 神戸高商 戦 於 戸塚早大トラック 吾軍の力戦ものすごく、予想外の大激戦で最後のリレーに至るまで 勝負の予想を許さず。 34½ 対 29½ にて惜敗す。
	11・22	予科 対 外語 戦 於 石神井グラウンド 41 対 16 をもって予科の勝となる。
1925年 大正14年		(4・18、全日本陸上競技連盟の創立)
	5・24	第2回 対 神戸高商 戦 於 京阪寝屋川運動場 佐野学長より遠征に当って学校を休んで行ってはならぬ、もしもどう しても行くなら、この対校競技は絶対に許可せぬと言われ、土曜日の 夜 出発 日曜日の朝 到着。午後1時より試合開始となった。 47½ 対 15½ にて再び敗退。 水上氏 大活躍。 第1回 専門部 対 横浜高商 戦 34½ 対 28½ にて勝つ。
1926年 大正15年	6・ 6	新装の運動場でグラウンド開きを挙行。
	6月	第2回 専門部 対 横浜高商 戦 42 対 27 にて敗れる。
	6・27	第3回 対 神戸高商 戦 於 学習院グラウンド 39 対 24 にて敗れる。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1927年 昭和2年	5・29	第1回 予科 対 東京高校 戦 於 石神井グランド 26 対 25 にて勝つ。
	6・18	第1回 対 立教大 戦 於 国立グランド 46 対 23 にて敗れる。
	6・25	対 外語 戦 於 石神井グランド 35 対 23 で勝つ。
	6月	第3回 専門部 対 横浜高商 戦 38 対 34 にて勝つ。
	7・16	第4回 対 神戸高商 戦 於 大阪市立運動場 34 $\frac{2}{3}$ 対 28 $\frac{1}{3}$ にて敗れる。
	11・13	専門部 対 成蹊高校 戦 於 成蹊高校グランド 38 対 25 にて敗れる。
	秋	南部忠平、織田幹雄氏ら国立グランドへ来る。(アキレス・クラブ)

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1928年 昭和3年	5月	対 外 語 戦 於 石神井グランド 35 対 22 で敗れる。
	5・13	第2回 予科 対 東京高校 戦 於 石神井グランド 25½ 対 25½ にて引き分け。 (5・27, 日本学生陸上競技連合発会式)
	6月	第2回 対 立教大 戦 於 国立グランド 39 対 30 にて敗れる。
	7・22	第5回 対 神戸高商 戦 於 神宮外苑競技場 36 対 21 にて敗れる。
	12・25	対 名古屋高商 戦 於 石神井グランド 27 対 24 にて勝つ。
1929年 昭和4年		「競技の友」創刊 (部長 高瀬荘太郎教授)
	6・16	第3回 対 立教大 戦 於 学習院グランド 二部の6位だった我部が一部の雄, 立教を 36.5 対 26.5 にて敗る。 <u>全一橋対外競技で初めての勝利。根橋氏 砲丸投・円盤投・走高跳に優勝し, 11種目中6種目出場して大活躍。</u>
	6・22	第1回 本科 対 東大経済学部 戦 於 本郷弥生丘グランド (予科のメンバーも含む) 31 対 26 で勝つ。
	7・7	対 大阪商大 戦 於 石神井グランド 31.5 対 25.5 で勝つ。
	7・21	第6回 対 神戸商大 戦 於 甲子園グランド 34 対 23 にて <u>初勝利。</u>

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1930年 昭和5年		関東I・C 一部昇格！
	5・17	Y・C・A・C（横浜外人）戦 37 対 20 で敗れる。
	6・1	第4回 予科 対 東京高校 戦 於 上井草グラウンド 24 対 27 にて敗れる。
	6・7	立教大・農大・商大 戦 於 上井草グラウンド 85.5（立）— 72.5（農）— 56（商）
	6・29	第6回 対 横浜高商 戦 於 国立グラウンド 35.5 対 27.5 にて勝つ。
	7・13	第7回 対 神戸商大 戦（兼 第1回 三商大 戦） 於 上井草グラウンド 31½ 対 25½ にて勝つ。
	7・20	対 大阪商大 戦 於 上井草グラウンド 30 対 27 にて勝つ。
	10・25	第2回 本科 対 東大経済学部 戦 於 国立グラウンド 大接戦となり800mR で勝敗が決まる。 28 対 23 にて敗れる。
	11月	第1回 予科 対 水戸高校 戦 38 対 19 にて惨敗。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1931年 昭和6年	5・23	第5回 予科 対 東京高校 戦 於 東京高校グラウンド 28 対 23 で勝つ。
	6・6	Y・C・A・C 戦 於 Y・C・A・Cグラウンド 40.5 対 28.5 で勝つ。
	6・20	第3回 本科 対 東大経済学部 戦 於 本郷帝大トラック 今回から佐野学長及び森経済学部長寄贈のトロフィーが出ることになる。28 対 23 で敗れる。800mR アクシデントで本学チーム勝つ。
	6・28	第7回 専門部 対 横浜高商 戦 於 横浜高商トラック 20 対 43 で敗れる。
	7・19	第8回 対 神戸商大 戦 於 大阪市立運動場 40.5 対 16.5 にて大敗。 走幅跳の頃大雨となる。
	9・26 27	第13回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 二部へ転落。
	10・6	警官隊と籠城団と大衝突し、部員数名検束される。(籠城事件)
	11・7	専門部 対 成蹊高校 戦 於 国立グラウンド 26¾ 対 24¼ にて惜敗。
	11・15	第2回 予科 対 水戸高校 戦 於 石神井グラウンド 36¾ 対 20¼ にて連敗。
	11・16	専門部 対 浦和高校 戦 於 国立グラウンド 28¾ 対 28¼ にて惜敗。
	11・19	一橋陸上競技倶楽部(O・B)設立準備会
	11・20	国立の部室 棟上げ終わる。
	11・21	第2回 全一橋 対 早大 新人戦 於 国立グラウンド 133.5 対 49.5 にて大敗。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1932年 昭和7年	1・7	部室・脱衣場ほとんど竣工
	1・22	国立グランド修理工事完成
	5・12	全国高商陸上競技大会準備委員会を組織
	6・15	第4回 本科 対 東大経済学部 戦 於 国立グランド 28 対 23 にて敗れる。
	6・18	第6回 予科 対 東京高校 戦 於 石神井グランド 27 対 24 にて敗れる。
	6・18	専門部 対 成蹊高校 戦 於 成蹊グランド 36 対 15 にて勝つ。
	7・10	第9回 対 神戸商大 戦 於 国立グランド 30½ 対 26½で勝つ。
	7・16 17	第1回 全国高商大会 於 国立グランド 豪雨の中、兼松講堂で発会式 鳩山文相らの臨席を得る。 名古屋高商 優勝 本学9位 鈴木正夫 棒高跳3m40で優勝
	9・24 25	第14回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 本学2部第4位
	10・1	第3回 全一橋 対 早大 新人戦 於 国立グランド 143.5 対 56.4 で大敗。
	11・11	第1回 専門部 対 東大農学部 実科戦 於 国立グランド 30 対 27 にて惜敗。
	11・12	専門部 対 浦和高校 戦 於 浦和グランド 35⅔ 対 21⅓ で勝つ。
	11・13	第3回 予科 対 水戸高校 戦 於 水戸高グランド 35.5 対 21.5 で敗れる。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1933年 昭和8年	11・20	第8回 専門部 対 横浜高商 戦 於 国立グラウンド 37½ 対 25½ にて再び敗る。
	11・23	創立10周年記念祝賀競技会 於 国立グラウンド O・B 対 学生の対抗戦 午後2時開始
	5・18	O・Bクラブ定期総会 於 如水会館 関西支部設立 議決される。
	5・29	一橋大陸上競技倶楽部 関西支部発会の夕開催 於 大阪市北浜 如水会大阪支部（14名集まる） 榎本銀太郎氏が関西支部設立実行委員となる。
	5・20	専門部 対 外語 戦 於 国立グラウンド 過去2年間中断 35 対 22 にて敗れる。
	5・27	専門部 対 成蹊高校 戦 30 対 21 にて勝つ。
	5・27 28	第6回 全日本I・C 於 甲子園グラウンド 外川氏 槍投 52m31で貴重な1点を獲得。 橋川氏 走高跳 1m73
	7月	第2回 全国高商大会 於 神戸市民運動場 名古屋高商優勝
	7・9	第10回 対 神戸商大 戦 於 神戸市民グラウンド 本学勝つ。(33% 対 23%)
	11・12	第4回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グラウンド

年	月日	陸上競技部史
1934年 昭和9年	5・5	専門部 対 成蹊高校 戦 於 国立グランド 29.5 対 27.5で勝つ。
	5月	第7回 全日I・C 橋川雄一 走り高跳 第4位
	5・26	予科 対 成城高校 戦 於 国立グランド 33 対 24で勝つ。
	6・2	専門部 対 外語 戦 於 国立グランド 29 対 28で勝つ。
	6・23	第8回 予科 対 東京高校 戦 於 国立グランド 25 対 26で敗れる。
	6・29	第6回 本科 対 東大経済学部 戦 於 東大グランド 31 対 20で勝つ。
	7・8	第11回 対 神戸商大 戦 於 国立グランド 39.5 対 17.5で勝つ。
	9・10	対 北海道帝国大学 戦 於 北大グランド 35.5 対 21.5で勝つ。 対 全小樽 戦 接戦の末勝つ。
	9・29 ↓ 30	第16回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 本学2部4位
	11・11	第5回 予科 対 水戸高校 戦 於 水戸高校グランド 22.5 対 34.5で敗れる。
	12・1	第9回 専門部 対 横浜高商 戦 於 横浜高商グランド (前年は雨のため中止) 36 対 21で勝つ。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1935年 昭和10年	5・18	第2回 予科 対 成城高校 戦 於 国立グランド 40.5 対 16.5 にて敗れる。
	5・24	第10回 専門部 対 横浜高商 戦 33 対 24 にて快勝。
	5・25	全日本選手権大会 於 甲子園グランド 橋川雄一氏 走高跳 1m90で第3位入賞。／
	6・1	専門部 対 外語 戦 於 国立グランド 33.5 対 23.5 で勝つ。
	6・16	第7回 本科 対 東大経済学部 戦 26.5 対 24.5 にて惜敗。
	6・22	専門部 対 成蹊高校 戦 於 成蹊グランド 28 $\frac{1}{2}$ 対 22 $\frac{5}{8}$ で敗れる。
	7・14	第12回 対 神戸商大 戦 於 甲子園グランド 50.5 対 6.5 の未曾有の戦績をもって大勝す。通算6勝6敗となる。
	7・21) 22	第4回 全国高商大会 於 甲子園南グランド 和歌山高商優勝
	9・28) 29	第17回 関東I・C 農大(48点)にわずかに敗れて、本学(46点)第3位に止まる。
	11・17	第6回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グランド 47 対 15 にて大敗。
	11・23	第9回 予科 対 東京高校 戦 於 東高高校グランド 26 $\frac{1}{3}$ 対 24 $\frac{2}{3}$ で惜敗。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1936年 昭和11年	11・24	専門部 対 東京高等農林 戦 於 国立グランド 帝大農学部実科が独立して高農となつてからの第1回戦 35 対 16 にて大勝。
	5・16	第 10 回 予科 対 東京高校 戦 於 国立グランド 41.5 対 9.5 で大勝す。
	5・23	第 11 回 専門部 対 横浜高商 戦 於 国立グランド 16 対 41で敗れる。
	5・30) 31	第 18 回 関東I・C 本学 得点24点 第9位 神谷三雄氏 走幅跳 5m94で優勝
	6・ 6	専門部 対 外語大 戦 於 国立グランド 39.5 対 17.5 で敗れる。
	6・17	第 6 回 専門部 対 成蹊高校 戦 於 成蹊高校グランド 30 対 21 で敗れる。
	6・27	予科 対 成城高校 戦 於 成城高校グランド 34.5 対 16.5 で敗れる。
	7・12	第 13 回 神戸商大 戦 於 国立グランド 37% 対 19% で5連覇。
	9・20	第 1 回 専門部 現役・O・B 対抗戦 於 国立グランド 133.5 対 117.5 でO・Bが勝つ。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1937年 昭和12年	9・23	一橋 対 専修大 戦 (練習試合) 相馬先輩 (専修大 元学長) の幹旋による。専修は一部で一流選手を擁する。 専修に 50.5 対 43.5 で敗れる。
	11・ 1	一橋 対 大阪商大 練習試合 19½ 対 39½ にて惨敗。
	11・ 8	第 7 回 予科 対 水戸高校 戦 於 水戸高グラウンド 29¾ 対 32¼ で7連敗。
	11・21	第 1 回 予科・専門部・高農 三巴戦 於 国立グラウンド 38⅓ 対 20% 対 36% で予科優勝。
	11・23	三科対抗戦及び水上氏杯争奪戦 (800m) 本科優勝 水上氏杯 梅田氏 2分13秒2 にて獲得
	5・ 8	第 11 回 予科 対 東京高校 戦 於 東高グラウンド 44 対 1 にて圧勝。
	5・23	第 9 回 本科 対 東大経済学部 戦 於 国立グラウンド 37 対 21 で勝つ。
	5・24	第 12 回 専門部 対 横浜高商 戦 於 横浜高商グラウンド 37 対 20 にて敗れる。
	6・ 5) 6・ 6	第 19 回 関東 I・C 2部4位 38.5点 木原氏 槍投で 50m 12 優勝

年	月日	陸 上 競 技 部 史
	6・20	第4回 予科 対 成城高校 戦 於 国立グランド 40 対 11 で大勝。
	6・26	第7回 専門部 対 成蹊高校戦 於 国立グランド 28 対 23 で勝つ。(通算4勝3敗)
	7・11	第14回 対 神戸商大 戦 於 甲子園南グランド 47 対 11 で大勝(8勝6敗)我部自己新11生まれる。翌13年からは大 阪商大を含めた三商大戦となる。
	9・11	大阪商大 戦 於 大阪市民グランド 21½ 対 35½ で敗れる。
	9・23	第5回 専門部 対 外語大 戦 於 国立グランド 35 対 22 で勝つ。
	10・ 2	一橋 対 専修大 戦 於 国立グランド 60 対 35 で勝つ。
	11・ 7	第8回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グランド 43.5 対 19.5 にて大勝。 7連敗後の初勝利。
	11・21	第2回 予科・専門部・高農 三巴戦 於 国立グランド 39 対 23 対 34 で予科優勝。
	11・28	三科対抗戦 本科優勝 水上氏杯は、本年度1500m 最高記録保持者 横田好夫氏に

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1938年 昭和13年	5・14	第12回 予科 対 東京高校 戦 43.5 対 7.5 にて大勝。
	5・28	第13回 専門部 対 横浜高商 戦 於 国立グランド 36 対 21 にて勝つ。
	6・4 6・5	第24回 関東I・C 於 神宮 2部4位 45½点 (初めての3部制実施) 木原氏 走高跳 優勝(1m80) 砲丸投 優勝(11m30 商大新) 立川氏 ハンマー投 優勝(34m77 商大新) 400mR 3位 46秒3(前田, 臼井, 元木, 木原)
	6・11	第8回 専門部 対 成蹊高校 戦 於 成蹊グランド 29 対 28 で勝つ。
	6・12	第10回 学部 対 東大経済学部 戦 於 帝大グランド 40 対 17 で勝つ。
	7・10	復活第1回三商大戦 於 国立グランド 1位 大阪(29点) 2位 東京(26点) 3位 神戸(3点)
	7・17 7・18	第7回 全国高商大会 於 国立グランド 専門部9点, 予科5点を得点。
	9・18	第2回 専門部 O・B 戦 於 国立グランド 115 対 76 で現役の勝ち。
	9・25	第5回 予科 対 成城高校 戦 於 国立グランド 28 対 23 で勝つ。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1939年 昭和14	9・24	第6回 専門部 対 外語大 戦 於 国立グランド 38 対 19 で大勝。
	11・ 6	第9回 予科 対 水戸高校 戦 於 水戸高校グランド 31 対 32 で惜敗す。
	11・27	第3回 予科・専門部・高農 三巴戦 於 国立グランド 1位 専門部(49) 2位 予科(35) 3位 高農(12)
	12・ 3	三科対抗戦 於 国立グランド 本科(79) 予科(61) 専門部(54) 水上氏杯は高商大会に本学新を出した中牟田研市氏に
	4・30	第13回 予科 対 東京高校 戦 於 東京高校グランド 43 対 8 で大勝。
	5・ 6	第9回 専門部 対 成蹊高校 戦 於 国立グランド 24 対 33 で敗れる。
	5・27	第14回 専門部 対 横浜高商 戦 於 横浜高商グランド 24.5 対 32.5 で敗れる。
	6・11	第11回 本科 対 東大経済学部 戦 42 対 14 で楽勝。
	7・ 9	第2回 三商大 戦 於 神戸市民グランド 1位 大阪(28点) 2位 東京(25点) 3位 神戸(7点)
	9・17	第3回 専門部 O・B 戦 於 国立グランド 105 対 84 で現役軍の勝ち。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1940年 昭和15年	9・22	三科対抗戦 於 国立グランド 本科優勝
	10・15	本学 対 慈恵医大 戦 於 国立グランド 46 対 11 で大勝。
	11・ 5	第10回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グランド 40 対 23 で大勝。
	11・11	第6回 予科 対 成城高校 戦 33 対 9 で大勝。
	11・11	第7回 専門部 対 外語 戦 30 対 27 で勝つ。
	11・19	第4回 予科・専門部・高農 三巴戦 於 国立グランド 41 対 40 対 15 で予科優勝。
	4・20	一橋 対 専修大 戦於 国立グランド 79 対 77 にて勝つ。
	5・25	第22回 関東I・C (決勝) 於 神宮外苑競技場 本学49点得点
	6・ 1	第14回 予科 対 東京高校 戦 於 国立グランド 32.5 対 18.5 にて勝つ。
	6・ 8	第15回 専門部 対 横浜高商 戦 於 国立グランド 34 対 23 にて勝つ。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
	6・15	第9回 専門部 対 成蹊高校 戦 於 国立グランド 26 対 31 で敗れる。
	7・14	第3回 三商大 戦 於 国立グランド 1位 東京(27) 2位 神戸(26) 3位 大阪(6)
	9・21	第8回 専門部 対 外語大 戦 於 国立グランド 26 対 31 にて敗れる。
	9・29	第1回 対 東京帝大 戦 於 国立グランド 大量得点の応酬で泥試合となり、リレーで勝敗が決する。リレーで 我軍バトンタッチ悪く、惜敗す。
	11・ 9	復活第1回 専門部 対 高農 戦 於 国立グランド 32 対 27 で勝つ。
	11・ 3	水上氏争奪 800m レース 永田氏 2分 11 秒 0 にて優勝，獲得。
	11・10	第11回 予科 対 水戸高 戦 35 対 28 で勝つ。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1941年 昭和16年	5・3	予科 対 東京高校 戦 於 東京高校グランド 37 対 14 で大勝。
	5・24	第10回 専門部 対 成蹊高校 戦 於 国立グランド 11 対 44 で大敗。
	6・7 6・8	第23回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 二部制覇。／ 総得点91点(トラック65点フィールド26点) 2位 東京帝大(89点)トラック6種目で優勝。
	6・21	第16回 専門部 対 横浜高商 戦 於 横浜高商グランド 18 対 39 にて大敗。
	7・13	第4回 三商大 戦 於 甲子園グランド 2連勝。／ 800mRで勝敗決する。 1位 東京(23.5) 2位 神戸(23) 3位 大阪(12.5) 中山伊知郎教授、部長に就任
	9・23	復活第2回 専門部 対 高農 戦 於 国立グランド 大勝す。
	9・28	第2回 対 東京帝大 戦 於 国立グランド 110.5 対 125.5で敗れる。
	11・1	第9回 専門部 対 外語大 戦 18 対 39 にて大敗す。
	11・2	予科 対 成城高校 戦 於 成城グランド 23 対 22 で勝つ。
	11・9	第12回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グランド 19 対 44 にて大敗。 対戦成績 2勝 10敗

年	月日	陸上競技部史
1942年 昭和17年	5・17	第16回 予科対東京高校戦 18対33にて惨敗。
	5・30 }	第4回 関東I・C 一部出場
	5・31	110mH 三隅氏 5位 400mH 黒住氏 5位 } 計4点得点で9位。残留。
	7・4	第13回 予科対水戸高校戦 於水戸高校グラウンド 7対56で大敗す。
	7・21	第5回 三商大戦 3連勝 再びリレーで勝敗決まる。リレーで紛争し、東京・神戸失格とする。 1位 東京(21点) 2位 神戸(20点) 3位 大阪(16点)
	7・28 }	第11回 全国高商大会 於国立グラウンド
	7・29	19校239名参加
	11・1	予科対成城高校戦 於国立グラウンド 18対27で敗れる。
1943年 昭和18年	11・8	本科対東大経済学部戦(復活) 20対37にて敗れる。
	4月	陸上競技班より陸上運動班へ移る。 練習は試合のためより鍛練のためのものになる。 三商大戦は中止となる。 中山伊知郎教授は本科班長 山田欽一教授は予科班長 田島源一郎教授は専門部班長に就任

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1945年 昭和20年	5・15	班内六種競技大会 100m・2000m・走高跳・走巾跳・砲丸投・手榴弾投
	7・4	第14回 予科 対 水戸高校 戦 於 国立グランド 7 対 44 にて大敗。
	12・1	入営となり「競技の友」は一応の終刊となる。
1946年 昭和21年		川本信正氏 日本陸連常務理事に就任（～21年）
		夏、学校工場の富士産業事務室となっていた部室の返還をうける。
		終戦後第1回の関東I・C（第25回 一・二部合同） 本学無得点に終わり22年度より二部に出場することになる。
1947年 昭和22年	10・13	東大 戦 18 対 27 で敗れる。 於 国立グランド
	5・16	第26回 関東I・C 二部制覇 トラック優勝 44点 } 計 112 点 フィールド優勝 68点 }
	6・29	対 東大 戦 於 国立グランド 53 対 22 で大勝。
1948年 昭和23年	5月	第27回 関東I・C かろうじて一部に残留。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1949年 昭和24年	6・25	対 東大 戦 勝つ。 於 国立グランド
		三商大 戦 復活 於 大阪 大差で優勝。
		三商大 戦 於 国立グランド 優勝。
		対 東大 戦 勝つ。 山中篤太郎教授、部長に就任。
1950年 昭和25年	6・11	第 29 回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 110mH 滝氏 4位 3点 これで一部に残留できた。
	7・20	関東I・C、二部優勝校の立教大学の挑戦を受け、復活第1回大会を国立グランドで行なう。圧倒的大差で勝つ。
	7・30	旧制大学による最後の三商大 戦 を国立グランドで行なう。 1位 東京 (54.5) 2位 神戸 (29.5) 3位 大阪 (22)
	10・16	東大 戦 (新制大学) 於 国立グランド 勝つ。
1951年 昭和26年	5月	第 30 回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 110mH 滝 2位 16秒0 5点 100mM 渋谷 3位 11秒1 4点 阿部 4位 14秒4 3点

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1952年 昭和27年	7・28	第1回 旧三商大 戦 於 大阪市立運動場 1位 一橋(57.5) 2位 大阪市立(30.0) 3位 神戸(25.5)
	5月	第31回 関東I・C 無得点のために2部に降格。
	7・20	第2回 旧三商大 戦 於 武蔵野競技場 1位 大阪市立(56.5) 2位 神戸(39.5) 3位 一橋(20)
1953年 昭和28年	5月	第32回 関東I・C 2部 14点 9位
	7・26	第3回 旧三商大 戦 於 大阪市立運動場 1位 大阪市立(52) 2位 神戸(43) 3位 一橋(17)
1954年 昭和29年	8・29	第4回 旧三商大 戦 於 神宮市民グラウンド 1位 神戸(52) 2位 大阪市立(39) 3位 一橋(25)
	5・21 5・22	第34回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 100m 竹田氏 11秒6(5位) 藤井氏 11秒8(6位) 400mR (竹田・高杉・相馬・藤井) 5位
1955年 昭和30年	6・5	対 東大 戦 於 国立グラウンド 23 対 46 にて惨敗。
		第3回 国公立大会を主催。3種公認グラウンドとなる。 村木武夫氏 日本陸連監事に就任。

年	月日	陸 上 競 技 部 史
1956年 昭和31年	5・13	第5回 旧三商大戦 於 国立グランド 1位 神戸(48) 2位 一橋(38.5) 3位 大阪市立(29.5)
	5月	第35回 関東I・C 於 神宮外苑競技場 得点12点 10位(22校中) 100m 藤井氏 11秒8(4位) 竹田氏(5位) 200m 竹田氏 23秒3(3位) 400mR(竹田・野島・相馬・藤井)4位
	5・27	対 外 語 戦 於 国立グランド 44 対 14 にて大勝。
	6・10	一橋大・東京経済大・埼玉大 対抗戦 於 国立グランド 1位 埼玉(80) 2位 東経(73.5) 3位 一橋(65.5) 対 東大 戦 於 東大駒場 18 対 50 にて大敗。 第6回 旧三商大戦 於 大阪市民グランド 1位 神戸(45) 2位 一橋(44) 3位 大阪市立(26) 竹田氏 100m 10秒9(学内新) この記録は31年度日本学生十傑100mの5位に入るべきものであった。
	10・21	第4回 国公立大会 於 学芸大グランド 得点18点(8校中第4位) 竹田氏 100mで11秒3(大会新)優勝す。

年	月日	陸上競技部史
1957年 昭和32年	5・5	対外語戦 於 国立グランド 44 対 13 にて大勝。
	5・12	一橋大・東経大・埼玉大 対抗戦
	5・25 }	第36回 関東I・C 於 横浜三ツ沢グランド
	5・26	無得点
	6・16	東京九大学対校陸上競技大会 於 慶大日吉グランド
	6・30	国公立大会 於 東工大グランド
	7・28	第7回 旧三商大戦 於 神戸市民競技場 1位 一橋(42) 2位 神戸(41) 3位 大阪市立(23)
1958年 昭和33年	5・11	第5回 対外語戦 於 国立グランド 43 対 14 で大勝
	5・25	対東大戦 於 東大駒場グランド 24 対 45 で惨敗
	6・6 }	第37回 関東I・C 於 国立競技場
	6・7	二部 12位 12点得点 松永氏 円盤投で優勝 34m79
	6・22	第2回 九大学対校陸上競技大会 於 武蔵野グランド 8位5点 円盤投 松永氏 34m55(3位) 砲丸投 松永氏 11m60(6位)

年	月日	陸上競技部史
	6・29	第6回 国公立大会 於 学芸大グランド 4位37点
	7・27	第8回 旧三商大 戦 於 国立グランド 1位 一橋(48.5) 2位 大阪市立(40.5) 3位 神戸(27)
	10・25	対 学習院大 戦 於 学習院 27 対 27 勝負なし 800mR 棒高跳は豪雨のため中止

**一橋陸上競技倶楽部と
日本陸上競技連盟とのかかわり**

一橋陸上競技倶楽部と日本陸上競技連盟とのかわり

1. 昭和48年3月に制定された「一橋陸上競技倶楽部会則」の第3条に、「本会は、一橋大学陸上競技部学生の部活動を支援し、わが国スポーツ界の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦・知識の増進を図ることを目的とする」ことが規定されているが、この傍線の部分について当倶楽部員が、日本陸上競技連盟他の役員として活躍してきたことを略述しておきたい。東京オリンピックを控えた昭和38年に水上達三氏（昭和3年）が日本陸連の副会長に、また尾本信平氏（昭和8年）が財務担当の常務理事に就任し殊に陸連の基金作りの面で貢献したことが平成7年に発刊された「日本陸上競技連盟70年史」にも記録されている。この資金集めは昭和38年に組織されたオリンピック陸上競技準備総局（HOPA）の経理局が担当してプレオリンピックの入場券販売から始まった。それに参画した者は以下の通りだが、昭和39年1月にはこれが第18回オリンピック東京大会陸上競技運営本部（HAO）に改組され、本番のオリンピックに臨んだのである。HAOでの役割は次の通りであった。

運営本部 経理局

総務	尾本信平				
副総務	吉見泰二				
入場券部長	吉見泰二				
用度部長	星野惣二				
用度副部長	渋谷鋭市				
用度部員	大津昭洋	千葉金助	阿部湘一郎		
	竹田英俊	大峽庸介			
総務局	山本省吾				

2. また、日本陸連創立以来の役員の中で当倶楽部会員名を「日本陸上競技連盟70年史」から転記すると、次の通りとなっている。

昭和20年	常務理事	川本信正
昭和21年	常務理事	川本信正

昭和22年	情報宣伝部長	川 本 信 正
昭和31～35年	監 事	村 木 武 夫
昭和36年	顧問審議員	水 上 達 三
	審 議 員	村 木 武 夫
	理 事	尾 本 信 平
昭和37年	顧問・審議員	水 上 達 三
	審 議 員	村 木 武 夫
	理 事	尾 本 信 平
昭和38～39年	副 会 長	水 上 達 三
	常 務 理 事	尾 本 信 平
	審 議 員	村 木 武 夫
昭和40年	副 会 長	水 上 達 三
	常務理事・総務局長	尾 本 信 平
	審 議 員	村 木 武 夫
	財 務 局 次 長	吉 見 泰 二
	財 政 部 長	星 野 惣 二
	経 理 部 長	渋谷 鋭 市
昭和41年	副 会 長	水 上 達 三
	常務理事・財務局長	尾 本 信 平
	審 議 員	村 木 武 夫
	財 務 局 次 長	吉 見 泰 二
	財 政 部 長	高 橋 保 市
	経 理 部 長	渋谷 鋭 市
昭和42年	副 会 長	水 上 達 三
	常務理事・財務局長	吉 見 泰 二
	財務局財政部長	高 橋 保 市
	経 理 部 長	星 野 惣 二
	総務局検定部長	渋谷 鋭 市
	国 際 部 長	渋谷 鋭 市
	審 議 員	村 木 武 夫
	監 事	尾 本 信 平

昭和43年	副 会 長	水 上 達 三
	常務理事財務局長	吉 見 泰 二
	財務局財務部長	高 橋 保
	経 理 部 長	滝 泰 之
	総務局国際部長	渋谷 鋭 市
	競技本部検定部長	星 野 惣 二
昭和44年	監 事	尾 本 信 平
	副 会 長	水 上 達 三
	常 務 理 事	吉 見 泰 二
	監 事	尾 本 信 平
	国 際 部 長	渋谷 鋭 市
	経 理 部 長	滝 泰 之
昭和45年	副 会 長	水 上 達 三
	常 務 理 事	吉 見 泰 二
	監 事	尾 本 信 平
	国 際 部 長	渋谷 鋭 市
	経 理 部 長	滝 泰 之
昭和46年（財団法人となる）		
昭和47年	理事・財務委員長	吉 見 泰 二
	監 事	尾 本 信 平
	顧 問	水 上 達 三
	審 議 員	寺 尾 一 郎
	理事・財務委員長	吉 見 泰 二
昭和48年	監 事	尾 本 信 平
	顧 問	水 上 達 三
	審 議 員	寺 尾 一 郎
	理事・財務委員長	吉 見 泰 二
	監 事	尾 本 信 平
昭和49年	顧 問	水 上 達 三
	審 議 員	寺 尾 一 郎・都 留 重 人

昭和49年	理事・財務委員長	吉 見 泰 二
	監 事	尾 本 信 平
昭和50～57年	顧 問	水 上 達 三
	審 議 員	寺 尾 一 郎・都 留 重 人
	理事・財務委員長	小 林 主
	監 事	尾 本 信 平
昭和58年～	顧 問	水 上 達 三
	審 議 員	寺 尾 一 郎・都 留 重 人
平成元年	理事・財務委員長	高 橋 保
平成2年	審 議 員	寺 尾 一 郎・都 留 重 人
	理事・財務委員長	高 橋 保
平成3年	審 議 員	都 留 重 人・尾 本 信 平
	理事・財務委員長	高 橋 保
平成4～8年	審 議 員	都 留 重 人・尾 本 信 平
	財 務 委 員 長	阿 部 湘一郎

以上のほか70年史に記載されていないが財務委員として福島清四郎，春日井弘，内藤藤三，中村龍太郎の各氏が現在も登録されている。

3. 栄 章 受 章 者

(財)日本陸上競技連盟には栄章に関する規定があるが，その内次の受賞者を紹介しておく。

功 勞 章 …… 日本陸上競技会に功績があった者(内外人を問わない)に贈与する。(毎年2名以内)

秩父宮章 …… 日本陸上競技連盟あるいは加盟団体に功績があった者に贈与する(毎年30人以内)

功 勞 章 ： 水上達三，村木武夫，尾本信平

秩父宮章 ： 水上達三，村木武夫，尾本信平，小林 主，吉 見 泰 二，高橋 保，渋谷鋭市，阿部湘一郎，大島和郎

(阿部湘一郎 記)